

東日本大震災**救援募金**のお願い

米、野菜**など支援物資も**

募 **集** **ボラ** **ン** **テ** **ィ** **ア** **ン** **第** **十** **次**

画

14日は、物資のお届け、被災地の実態視察
15日は、物資のお届けと要望聞き取り
16日は、昼まで 物資のお届け

日 程

7月13日 (金) 夜 発
7月16日 (月) 夜 着

これまでの**救援募金 263万円**。 **ご協力に感謝します**

支援物資はすべて現地にお届けしました。募金は、お米や野菜、炊き出しの材料、業務用ガス炊飯器、物資輸送のレンタカーや宅配便などで活用しています。

今回お願いしたい**救援物資は、米、日持ちのする野菜、靴下、下着、石けん、洗濯石けん、タオル**などです。夏物衣類はご遠慮します。

港地区委員会 TEL 3455-0051

FAX 3455-0054
メール jcp_minato@ybb.ne.jp

港区議団 TEL 3578-2945

FAX 3578-2947
メール mail@jcp-minatokugidan.gr.jp

カレーとみそ汁、250食を盛りつけます。真剣です。



「カレーライスができました」と呼びかけると、長い列ができます

第9次ボランティア

復興住宅建設の メドたらず

復興住宅を建設しなければ、仮設住宅から出られない方がたくさんいます。早期の建設が必要です。しかし、土地確保が進んでいません。確保できても、田んぼなどで、土のいれかえだけで1年かかります。ライフラインの整備、設計、建築となると、5年も6年も先の話しになってしま

うのです。
被災者の医療費無料化の制度（国保加入者）は今年9月で終了となります。被災者が医療を受けられなくなってしまう

まいます。
この他、仕事の確保や心のケアなど、政治の果たす役割が、大きく問われています。

募金、物資提供など、ご連絡いただければ
お伺いします。 整理の都合上7月9日まで受け付けます

日本共産党港地区委員会は、五月二日から五日まで石巻市の日本共産党「震災・救援センター」へ第九次ボランティアに10名を派遣しました。



南三陸町防災庁舎



みそ汁盛りつけ



楽しい人 は〜い

五月二日の深夜に港区を出発。大雨は三日も続きました。三日の朝、登米東和インターにおいて、朝食休憩です。その後、南三陸から雄勝、女川、石巻と被災地の視察を最初に行いました。

南三陸では、防災無線で津波に呑まれるまで避難を呼びかけた現場を目に焼き付けました。献花でいっぱいです。大川小学校も献花でいっぱいでした。

昼食をとり、翌日のカレーライスを炊き出しの下準備をしてこの日

は終了です。「ふたこの湯」に入っ て宿へ。宿は、米川という所で、登米東から車で二〇分くらい奥に入ります。

カレーとみそ汁炊き出し

五月四日も大雨がやみません。今回の炊き出し場所は、仮設住宅ではなく、中浦地域のスーパ跡地です。現地に移動して炊き出しです。事前にお知らせの宣伝もしてありましたから、次々と集まっ てきます。



米川の宿舎前で記念撮影 港・目黒



小さな仮設で ミニバザーと聞き取り

カレーとみそ汁 二五〇食を一時 三〇分に完成させるべく、手順良く作ります。雨と風が強く大変でした。一時頃から雨雲が消え始め、太陽が見え隠れしてきました。雨が上がって晴れの天気です。コンクリー



緊張のくじ引き

トの地面も乾きました。カレー、みそ汁が無事完成。配食です。列が長くできます。きれいに完食です。みそ汁は、キャバツとシメジ、油揚げです。これが甘くて美味しいのです。

自転車抽選 緊張します

今回も、多くの区民から物資の提供を受けました。その中に、子ども用自転車がありました。台です。抽選です。

自転車の欲しい人集まれ〜と声をかけると、ちびっ子一人が駆け寄ってきます。背の小さい順に並んでもらい、くじ引きです。誰が当たるかな〜と緊張の瞬間です。ちな

「ちゃん」が大当たりです。当たった自転車に乗ってここに。

五日の早朝に撮影した米川地域の風景です。キジもいました。虹もできました。花々もきれいです。

五日は、午前中に小さな仮設住宅を三施設まわって、ミニバザーです。要望聞き取り



大当たり ちなちゃん



ラリ

手作りのストラップ好評

手作りの携帯ストラップを五〇セット救援物資で提供してもらいました。これが大評判です。喜んで受け取ってくれたお母さんの写真を見てください。



た



た

職場と仕事確保、住宅の再建、心のケア 復興に向けた本格的取り組みはこれからです